

新潟市北区郷土博物館の沿革

年月日	主なできごと
昭和 43 (1968) 年 11 月 3 日	明治百年を記念し、豊栄町役場分館 2 階に豊栄町博物館が開館
昭和 45 (1970) 年 11 月 1 日	豊栄市市制施行により、豊栄市博物館となる。
昭和 55 (1980) 年 5 月 8 日	現在地に新館（現在の本館、鉄筋コンクリート造平屋建）が竣工
昭和 56 (1981) 年 3 月 28 日	常設展示テーマを「福島潟と人々の暮らし」（～1997 年 3 月 31 日）として開館
昭和 56 (1981) 年 11 月 17 日	登録博物館として新潟県教育委員会官報告示
平成 10 (1998) 年 7 月 2 日	「一書聖一弦巻松蔭の世界」をテーマとした「書」分野に常設展示を方針転換（～2014 年 11 月 16 日）してリニューアル開館
平成 16 (2004) 年 4 月 13 日	旧横井小学校特別教室を改装し、分館 横井の丘ふるさと資料館が開館
平成 17 (2005) 年 3 月 21 日	豊栄市が新潟市に編入合併し、名称を新潟市豊栄博物館に変更。以後、新潟市教育委員会が所管する。
平成 19 (2007) 年 4 月 1 日	政令指定都市に移行し、区制スタート。当館は、「北区の歴史と文化」をテーマに活動を始める（常設展示は「弦巻松蔭の世界」を継続）。
平成 23 (2011) 年 3 月 31 日	合併建設計画により、水の公園福島潟地内に郷土資料収蔵庫が完成
平成 23 (2011) 年 4 月 1 日	豊栄地区地域協議会からの提言（2006 年 11 月）を受け、名称を新潟市北区郷土博物館に変更
平成 27 (2015) 年 5 月 2 日	「阿賀北の大地と人々の暮らし」をテーマとした常設展示にリニューアル暫定オープン
平成 28 (2016) 年 11 月 3 日	常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」がグランドオープン。
令和 7 (2025) 年 4 月 1 日	観覧料を有料化とする。